

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-90	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	歴総-706	明解 歴史総合		

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバル化や情報化、少子高齢化など急激に変化する現代社会に至る歴史的過程を理解し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指して編修した。特に、現代世界の諸課題が形成された歴史的背景について理解を深め、歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察する力を習得することをねらいとした。また、主体的に社会の形成に参画する態度が身に付くよう留意した。

2. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

(1)現代の諸課題の歴史的経緯について理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う教科書

- ・国際協力の重要性を理解できるよう、2部ではアジアの中の日本の動きや世界の歴史との関わりを、3部では新たな国際秩序の形成や変化の中での日本の動きを、4部では冷戦構造下と冷戦終結後の日本の国際的な立場と役割について丁寧に取り上げた。
- ・現在に至るまでに形成された様々な諸課題について、歴史的経緯を理解できるよう2部～4部でコラム「**未来へ活かす歴史**」を設置した。
- ・当時の人々が直面した課題について、当時の状況を踏まえながらどのような判断をしたのか主体的に考えることができるよう、2～4部でコラム「**歴史の選択肢**」を設けた。

(2)思考力・判断力・表現力を養う教科書

- ・思考力・判断力・表現力を養うことができるよう、学習を見通す「**章の学習課題**」やページごとの「**学習課題**」、学習内容を振り返る「**確認**」「**説明**」「**章のまとめ**」などを随所に設けた。
- ・資料から歴史的事象の特徴を考察する力を養うことができるよう、写真や図表、史料の読み解きを促す「**読み解き**」を随所に設けた。
- ・複数の資料を読み解き、当時の社会が抱えた課題や人々の判断を考察することで、思考・判断を行える特設「**歴史に迫る!**」を設置した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	●様々な資料の種類とその特性を紹介し、実際に資料活用を行いその留意点を自分で確認することで、歴史学習において資料を扱うための知識と教養を身に付けることができるよう配慮した(第1号)。	p.5-10
2部 近代化と私たち 序章 近代化への問い 1章 江戸時代の日本と結び付く世界 2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家形成 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	●欧米諸国の近代化と国民国家形成について丁寧に取り扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮した(第1号)。 ●日本の開国前後の動きから日本の産業革命までを丁寧に取り扱い、近代化と産業の発展には先人達のたゆまぬ努力があったことを示すことで、職	p.32-55 p.61-82

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-90	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	歴総-706	明解 歴史総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●グローバル化する国際社会に主体的に参画し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる地理歴史科の教科書となるよう以下の点に配慮した。

1. 現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察することができる教科書

- ・本文の記述は、各部の主題(「近代化」「国際秩序の変化や大衆化」「グローバル化」)の形成や変化が常に意識できるように努めるとともに、そこに起因する現代的な諸課題を意識的に紹介するようにした。
- ・コラム「**未来へ活かす歴史**」を随所に設け、5つの視点(自由と制限, 平等と格差, 開発と保全, 統合と分化, 対立と協調)を中心に、現代的な諸課題を考えるうえで参考にして欲しい事項について紹介した。
- ・各部末の部のまとめに「**より深く調べてみよう!**」を設け、5つの視点を活用して、現代的な諸課題の形成について考察することができるようにした。

2. 世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えられる教科書

- ・日本と世界の結び付きを常に意識できるよう、配列や本文の記述を工夫し、日本と世界に関わらず、ヨーロッパとアジアの双方がどのようにお互いに影響を与えたのか、同時代的な動きを意識的に紹介するようにした。
- ・コラム「**世界の中の日本**」を随所に設け、当時の日本が世界とどのように結び付き、相互に影響を与えていたかを理解できるようにした。
- ・日本と世界の文化的なつながりが見える特設「**生活・文化から見る日本と世界**」を時代ごとに設け、当時の日本の人々の暮らしや社会の様子を通して、日本と世界が相互に影響を与えていたことを理解できるようにした。
- ・本文ページの右端には、巻頭と巻末に設けた日本の年表と対応する印を示し、現在学習しているページが日本のどの時代かわかるようにした。
- ・世界を同時代的に概観する地図を多数掲載し、日本と世界の相互のつながりが理解しやすいようにした。

3. 歴史的な見方・考え方を働かせながら考察できる教科書

- ・2~4部の冒頭の導入ページに「**歴史ウォーミングアップ②**」を設け、これから学習する内容に対して、資料を活用して**自分の問いを表現**することができるようにした。
- ・章の始めには「**章扉**」を設け、「**章の学習課題**」を設定するとともに、それに関連する画像資料や文章資料、統計資料などを配置した。現在とのつながりを意識しながら考察することを通して、より具体的な見通しをもって学習に臨めるようにした。
- ・各本文ページに「**学習課題**」を設け、どのような点に着目して学習を進めていけばよいのかを示すようにした。
- ・各本文ページ末には「**確認**」と「**説明**」を設け、各学習課題に対応した知識を習得したり、歴史的な見方・考え方を働かせながら学習内容を説明したりする活動を充実させた。
- ・各章末には、「**章のまとめ**」を設け、歴史的な見方・考え方を働かせながら、現代的な諸課題の形成につながる視点を持って、学習内容をまとめる活動を充実させた。

- ・各部末の「部のまとめ」には「部を振り返ってみよう」を設け、各部の主題について、自分の考えを歴史的な見方・考え方を働かせながら説明する活動を充実させた。

4. 資料の活用や歴史的技能の習得を通して思考力・判断力が育成できる教科書

- ・特設「歴史に迫る！」を設け、学習した内容を踏まえて、複数の資料やさまざまな人の意見を読み解くことで、当時の状況への理解を深めながら、思考力・判断力を育成できる活動を充実させた。
- ・コラム「歴史の選択肢」を随所に設け、国内外で議論となった歴史的な出来事を考察することで、当時の人々の考えに立って歴史事象を考察する力を育成できるようにした。
- ・図表や絵画資料、史料を充実させるとともに、読み解きを促す「読み解き」を随所に設け、資料の比較や関連付けなど、資料の活用を通して思考力・判断力が身に付くよう配慮した。
- ・歴史的技能を習得できる特設「技能を磨く」を随所に設けた。1部2章には資料を取り扱う際の着目点・注意点を示す「歴史の特質と資料」を設けるなど、資料活用と読み解く技能を育成するコーナーを充実させた。習得した技能については各ページの「読み解き」や特設「歴史に迫る！」など、随所で活用できるようにした。また、情報をまとめたり表現したりする技能を重視し、「情報の集め方」「情報のまとめ方 意見交換の方法」「レポートや小論文の書き方」などの技能を習得できるようにした。

5. 世界史初学者に向けた配慮や中学校との学習の接続を意識した教科書

- ・本文は平易に記述するとともに、巻末には「頻出用語解説」を配し、歴史的な概念や経緯の理解が深まるようにした。
- ・また、QR コンテンツとして、「一問一答」や「用語解説」などを用意し、基礎基本の定着が図れるようにした。
- ・本書の冒頭には資料ページとして「地域の歩み」を設け、世界各地の近代までの歴史を学習していない生徒でも、各地域の歴史的な背景が端的に理解できるようにした。
- ・人々の生き様から当時の社会を理解するコラム「人物」や身近なものが日本や世界の歴史に影響を与えたこと紹介するコラム「FILE」を設け、世界史を初めて学ぶ生徒の興味・関心がわくようにした。
- ・2～4部の導入には、中学校での学習内容を文章と図版で振り返る「歴史ウォーミングアップ①」を設け、中学校で学習した内容を踏まえて、これから学習する時代の考察ができるようにした。
- ・本文の左ページ下には「中学校との関連」を配し、中学校の歴史的な分野で既に学習した項目について一目で確認できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1部 歴史の扉			
1章 歴史と私たち	A (1)	p.1-4	1
2章 歴史の特質と資料	A (2)		
1節 資料を取り扱ってみよう		p.5-9	2
2節 歴史叙述とは何か考えてみよう		p.10	1
2部 近代化と私たち			
序章 近代化への問い	B (1)	p.13-19	1
1章 江戸時代の日本と結び付く世界	B (2)	p.20-31	4
2章 欧米諸国における近代化	B (3)	p.32-42	5
3章 近代化の進展と国民国家形成		p.46-55	4
4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		p.56-66	5
5章 近代化が進む日本と東アジア		p.70-82	5
「近代化」を振り返り 現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	B (4)	p.83-86	2

3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち			
序章 国際秩序の変化や大衆化への問い	C (1)	p.87-93	1
1章 第一次世界大戦と日本の対応	C (2)	p.94-100	3
2章 国際協調と大衆社会の広がり	C (3)	p.106-121	6
3章 日本の行方と第二次世界大戦		p.122-138	7
4章 再出発する世界と日本		p.142-150	4
「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り 現代的な諸課題と結び付けて考えよう！	C (4)	p.151-152	2
4部 グローバル化と私たち			
序章 グローバル化への問い	D (1)	p.153-157	1
1章 冷戦で揺れる世界と日本	D (2)	p.158-169	4
2章 多極化する世界	D (3)	p.170-178	4
3章 グローバル化のなかの世界と日本		p.184-194	5
これまでの学習を振り返り 現代的な諸課題の形成と展望を考えよう！	D (4)	p.195-198	3
			計 70 時間